

たより

～有緝小学校 食育研究会～

わかる、つながる、高め合う子ども達

伊勢市立有緝小学校で、二年間にわたる食育研究の成果が発表されました。「わかる・つながる・高め合う子どもをめざして～食に出会い・人に出会い・自分に出会う～」を研究主題として、児童の実態を出発点に授業実践を積み重ねた研究の一幕が公開されました。

一年生は、「ありがとう いただきます!」という単元の授業を行いました。紙粘土で作ったお弁当をみんなに紹介し、おいしく食べる工夫を考えたり、自分たちのことを考えて給食を作っている調理員さんに感謝の気持ちを感じたりして、食べることの意味を深めていこうというものでした。

自作のお弁当を誇らしげに紹介する子ども達の瞳は、きらきらと輝き参観者の心を動かします。自分で考えた工夫を言葉にする時も、生き生きとしています。

子ども達が自分で考え解決していくことがいかに大切なことなのかがわかります。

続いて、子ども達が考えたメニューの中から、ハンバーグをとりあげ、実際に調理員さんが作ります。細かく刻んだピーマンとひき肉をこねると、

「あっ、ピーマン入れた・・・」

と声が聞こえます。苦手なのでしょうか。

調理員さんの手の動きと担任の榭原先生のとてきぱきした姿に見とれている子ども達の姿は、何ともかわいらしいですね。作ってもらったハンバーグを食べた子ども達からは、自然と「ありがとう。」の言葉が出てきます。調理員さんへの感謝の気持ちがあふれる温かいひとときです。





三年生は、「作ろう！食べよう！伊勢の味」という単元で、伊勢ひじきをとりあげた授業を行いました。ひじき工場を見学し、ひじきを作る北村さんの思いにふれ、おすすめひじき料理を作って食べるという一連の活動をみんなで振り返り、学びを組み立てようというものでした。一つひとついねいに思い出しながら、大島先生の言葉に真剣に耳を傾ける子ども達の姿が心に残ります。

ひじきの煮物やひじきおにぎりを作ったことを振り返る場面では、乾物の魅力にふれるだけでなくひじきを作った北村さんの思いにも心を寄せます。さらに、自分たちが作ったひじき料理を食べてくれた人の感想を交流する中で、食べる人に喜んでもらいたいという気持ちにもふれていきます。自分が感じたことや考えたことを、自分の言葉でしっかりと語っていく子ども達の姿は、堂々としたものです。

北村さんのビデオレターを、にこやかな表情で聞く子ども達。それは、子ども達においしさを届けたいという願いや子ども達の成長を願う優しさにあふれたもので、子ども達の心に強くひびきました。食に出会い・人に出会い・自分に出会う・・・という言葉にこめられた先生方の思いが感じられる授業でした。

五年生は、小西さんとの米作り体験や見学、調べ学習を通して、米の魅力や現代の課題に迫り、自分たちの食生活について考えようという指導計画の中で授業が展開されました。小西さんといっしょに作った米を使って自分で朝食をつくるという活動から、子ども達は気づいたことや考えたことを交流し、学び合っています。

日本の自給率や食生活の問題点をとりあげる子どもいれば、朝の忙しい時間の中で朝食をどうやって大切にしていけるかを考える子どももいます。中には、自分の食生活を振り返り、栄養素やバランスについて語る子どももいます。どの子ども、豊かに積み上げられた実体験をもとに話しているので、聞いている仲間にもわかりやすく、次々と互いの考えを引き出していきます。

松井先生が、「そう。」「それで。」と、にこやかな表情で子ども達の言葉をつなぎ、考えを深めていきます。板書もわかりやすく、子ども達の思考を助けています。うなづいたり、疑問を投げかけたりしながら、心を寄せ合う子ども達の姿は、授業を参観している私たちを感動させてくれました。つながり、高め合う子ども達の姿がそこにあったのです。



アンケートより

(一部抜粋)

<公開授業について>

- ・子ども達をひきつける仕組みがいっぱいの楽しい授業でした。食べるのが楽しいだけで終わらず、感謝の気持ちにまで達していることに感動しました。このことは、家族にも伝わると思っています。また、子ども達にとっても、いつまでも心に残る授業であったと思います。



- ・自分の嫌いなものを工夫してお弁当に入れる。それを紙粘土で作る実践は、ぜひまねさせていただきたいと思います。そのメニューを目の前で作ってもらってみんなで味わう体験は、子ども達にとってとても貴重なもので、これからの食生活を豊かにする体験だと思いました。
- ・ビデオを見ながら、自分たちが書いた紙を見たり相づちをうったり、また行きたいという声が聞こえてきたり、これまでの授業が生かされていると感じました。自分たちの町を見つめなおす大切さを感じました。また、給食と自分たちの生活をつなげていく大切さを感じました。

- ・素直な児童の姿を見ることができてよかったです。これまでの食育の授業の積み重ねが活かされていた授業だと思いました。



- ・先生の子ども達に対する言葉かけが素敵だなあと感じました。ご飯を三日間食べてみる実践で、ご飯に合う味噌汁や副食を考える声が子ども達から出てきました。それが大切だと思いました。
- ・子ども達の実態からスタートした素晴らしい取り組みでした。単元構想図もわかりやすくよかったです。何よりも素敵な子ども達ですね。板書も美しくわかりやすくまとめられていました。

<全体会について>

- ・全ての教員が一つの目標に向かって連携されていることに感動しました。これからの参考にさせていただきます。
- ・どの学年も系統的に食育に取り組んでいて、大事なことだと思いました。「食」「人」「自分」に出会うってすてきだなと思いました。なかなか時間のない中で、日常の授業にいかに食育の視点を取り入れていくかが大事だと思いました。ありがとうございました。

